

特集：能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践

マンガケースメソッドにおける学習者の視点に基づく意見の推薦手法の検討と評価

高橋 B. 徹*, 内田 瑛**, 甲斐 康真*, 高橋 聡*, 吉川 厚***, 宮部 博史*

Discussion and Evaluation of Recommendation Method Based on Learner's Perspective for Case Method

Toru B. TAKAHASHI*, Hikaru UCHIDA**, Yasumasa KAI*, Satoshi TAKAHASHI*,
Atsushi YOSHIKAWA***, Hiroshi MIYABE*

1. はじめに

グローバル人材に必要な能力として「21世紀型スキル」がATC21S (Assessment & Teaching of 21st-Century Skills) プロジェクトにより提唱されている⁽¹⁾。これらには問題解決能力や批判的思考力が含まれている。

これらを身につけるのに有効な方法としてケースメソッドがある⁽²⁾。ケースメソッドは、ケース教材を題材に学習者同士が問題解決に向けて討論を行うことで、多面的なものの見方や実践的な批判的思考力を身につけることを目的とした教育方法である。

ケースメソッドではまず自らの視点に基づき意見を持って、議論のなかで他者の視点を取り込みながら、新たな視点を見つけていく。しかしながら、これには多くの時間を要するため新しい視点についての議論を十分に行えず、視点の交換のみにとどまってしまう可能性がある。

そのために事前学習を行い、議論の時間を十分にとる試みがなされている。しかし、これはケース教材を個人で読み込むものであるため、個人の意見を持つまでの時間短縮になるが、最も時間がかかる他者の意見を取り込むまでの大幅な時間短縮が見込めるわけではない。

そこで、事前学習として、学習者が他者の視点を効果的に取り込める、すなわち当該の学習者にふさわしい他者の意見を推薦するeラーニングシステムが有効であると考えられる。

そこで、本研究ではこのようなeラーニングシステムを実現するために、学習者に新たな視点を得られる意見を特定する仕組みを提案し、その仕組みを使って学習者に示す意見を生成する方法を示すことを目的とする。

2. 関連研究

ケースメソッドの方法の一つとしてマンガをケース教材として利用するマンガケースメソッドがある⁽³⁾。マンガケースメソッドは、すべてを文字にして明示的に示している一般のケース教材と異なり、自らが解釈しないといけない教材であり、現実場面に即した行動が求められるという特徴を持つ。また、マンガであるので、コマというユニットごとに意味が規定できるので、分析もしやすいという特徴もある。

堀田らはマンガケースメソッドにマンガのコマを使って学習者に新しい視点を与える方法を提案している⁽⁴⁾。これは、学びにくい異なる視点を学習者にリコメンドする機能をつける、すなわち学習者の考える

*東京理科大学 (Tokyo University of Science)

**青山学院大学 (Aoyama Gakuin University)

***東京工業大学 (Tokyo Institute of Technology)

受付日：2016年6月17日；再受付日：2016年9月25日；採録日：2016年12月19日